

鳳凰三山山行報告

【山行日】2015年 9月 5日(土)～6日(日)

【集 合】野木町役場P AM 3:00

【費 用】マイカー2台 : 14,000円

【メンバー】CL:鈴木、岩淵、大西、香川、
島田、関、津佐、松館、渡辺

9月5日(土) 曇り時々晴 青木鉱泉登山口から
ドンドコ沢経由で地藏岳へ登り鳳凰小屋泊

野木町役場P3:00＝青木鉱泉P6:30/6:55～南精進

ヶ滝 9:00～白糸の滝 11:00～五色滝 11:45～

鳳凰小屋 13:00/14:00～地藏岳 15:00/15:20～

鳳凰小屋 16:00



秋山シーズンに入り、最初の山行は鳳凰三山を計画した。



青木鉱泉登山口の駐車場に着くと、すでに満車状態になっていたが、端と端の止めにくい場所がかりうじて2台分空いており駐車できた。すぐに青木鉱泉に行き、駐車料金を払って受付を済ませる。

準備を済ませ、青木鉱泉前の広場に移動しトイレとストレッチを済ませて出発する。

ドンドコ沢コースの案内に従って進むと、去年崩落した個所は修復され迂回せずに登れた。

大きな堰堤を登ると平らになり、沢沿いの樹林の中を

緩やかに登って行く。やがて傾斜が急になり、山腹を巻くように登って行き、2時間程で南精進滝に着く。滝見台は登山道から左へ入り、岩場をロープで登ると豪快な滝が現れる。記念写真を撮り、グレープフルーツを食べ水分を補給する。

ここからは急登となり、鳳凰の滝看板を左に見送



つ
て
直
進



し、本流からは遠ざかって行く。

さらに急な山道を登り、尾根の左側に戻ると白糸の滝が見えてくる。紅白のまんじゅうを食べ、エネルギーを補給する。滝から少し登った所で、O嬢がツル姫なり2班に分けて登ることにする。

樹林帯の急な道を登り、小沢を渡ってザレ場を過



る。

明るく開けた川原で、正面には地藏岳のオベリスクが見える。先行した4名がここで待っていてくれ、合流して休憩する。

沢を渡り右手の尾根に取りつくと、間もなく鳳凰小屋に着いた。

小屋で受付し部屋に案内され、昼食に出る所にO嬢とS田氏が到着した。小屋の前のベン

チでラーメンを作り、全員で昼食を食べ地藏岳に向かった。小屋からすぐに小尾根の急登となる。



に着き、楽しみにしていた大宴会。小屋前のテーブルに、持ち寄ったおつまみを並べ、ビールやワイン、お酒と好きなもので乾杯し大いに盛り上がった。ちょうど宴会が終わると、「夕飯の準備が出来ました。」と案内があり、食堂でカレーをいただく。

カレーはお代わり自由で、皆さんお代わりをして美味しく食べていた。

9月6日(日) 曇り後雨 鳳凰小屋から、観音岳・薬師岳へ縦走し中道経由で青木鉱泉へ下山

鳳凰小屋 4:55～観音岳 6:30/7:00～薬師岳 7:30～御座石 8:20～林道出合 10:50～青木鉱泉 11:25/11:40＝ゆーぶる荏崎 12:30/13:10＝回転寿司「活鮮」13:20/14:00＝野木町役場 P19:05

ぎると五色滝に着く。3分くらい下ると、滝が間近に見られる。晴れていると滝が銀色に輝き、滝のしぶきが虹色に輝き、この沢で最も豪華な滝である。この先も急登が連続し、M氏が不調でペースダウン。若者たちは元気で先行し、M氏とゆっくり登ることにする。ザレ場をいくつか過ぎ、小沢を渡り林を抜けるとドンドコ沢源流の川原に出



樹林帯を抜けると、白砂のザレ場の急登となり、とても歩きづらい。頑張って登り切ると、地藏岳のオベリスクの基部に着く。薄曇りだが時々青空が見え、天を突くオベリスクが堂々と聳えている。

記念写真を撮り、オベリスクに挑戦する。先端の岩峰には登れなかったが、お互いに写真を撮り合って登頂の喜びを分かち合った。子授け地藏の並ぶ賽ノ河原へ回り、地藏岳の標柱の前で記念写真を撮って鳳凰小屋へ来た道に戻る。小屋



4時に起床し、寝具を屋根裏部屋に片付けザックを持って外に出る。ベンチで朝食を食べ、お湯を



沸かして皆のテルモスに入れる。トイレとストレッチを済ませ、予定より少し早く出発する。水場の脇から急な坂道を降り、沢を渡って右に少し行くとハシゴがある。ハシゴを登って尾根に取りつき、樹林帯の急登を登っていると東の空が赤く染まってきた。曇り空で、はっきりした形ではないが御来光を仰ぐことが出来た。シラビソの樹林帯から、ダケカンバの広葉樹に変わると傾斜が緩くなり、赤抜沢ノ頭からの縦走路に合流する。ここからは展望が開け、白根三山からオベリスクや甲斐

駒、仙丈岳等のパノラマが広がる。前方に観音岳も見えるようになり、花崗岩の間を登るようになる。

観音岳は鳳凰三山の最高峰で、地藏岳のオベリスクのような派手さは無いが、花崗岩が重なった山頂からは360度の大パノラマが得られる。白根三山や甲斐駒、仙丈岳はもちろん、東に富士山やハケ岳連峰、遠く南には荒川三山や赤石岳等々、名だたる名峰が一望のもと連なる。

記念写真を撮り、眺望を楽しんだ後朝食タイム

とする。お茶やコーヒー等、好きなものを飲みながら小屋の弁当をいただく。富士山を見ながら食べる弁当は、格別の味がした。デザートは梨をいただき、薬師岳に向かって出発する。



白根三山を見ながら、花崗岩とハイマツの間を歩く稜線は、このコース一番のビューポイント。自然が作り上げたオブジェと、大パノラマを同時に楽しめるなんとも贅沢なスカイライン。皆からも「いいね！いいね！」「素晴らしい！」と絶賛する声が聞こえてくる。

あっという間に薬師岳山頂に着く。薬師岳山頂は、白砂の広い山頂に花崗岩のオブジェを配し、山頂らしからぬ頂上。これで鳳凰三山すべて制覇、記念写真を撮って下山する。山頂から

左へ降りて、中道コースを下る。富士山とお別れし、大きな花崗岩の間をすり抜け樹林帯へ降りて行く。シラビソの樹林帯をしばらく降りて行き、御座石と言う大きな岩がある場所で休憩しパイナップルで喉を潤す。そこからしばらく下り、2000mを切るところから樹相が変わり、カラマツの植林帯を下るようになる。



いっきり食べて帰路についた。

カラマツ林の中、笹に覆われた九十九折れの道を黙々と下り、沢の音が大きくなると林道登山口に出た。林道を20分程下り、青木鉱泉への近道へ着くと「川が増水し渡れません。」との標識が……残念！

仕方なく、林道をそのまま進み、青木橋を渡って駐車場に戻った。車に乗って温泉に向かう途中で雨が降ってきた。ジャストタイムで雨にぬれずに済み、超ラッキー！！

日帰り温泉「ゆーぷる韭崎」で汗を流し、途中の回転すし「活鮮」で美味しいお寿司を思